

# 自民党 県会報告

第216号

**12月県議会 定例会** 会期 12月9日(火)～12月23日(火)

## 物価高対策に取り組み、 県民の安全・安心な生活を守る!

12月定例会は12月9日から12月23日までの15日間の日程で開会され、令和7年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など88件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、一般質問5名が登壇し、令和8年度の予算編成や県民生活の安全・安心の確保などについていただきました。

一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

### 令和7年度一般会計補正予算 768億5,900万円

**[主な内容]**

- 地域経済の活性化に向けた取組（10億8,029万円）
- 地域医療提供体制の充実に向けた取組（9,230万円）
- 物価高への対応（168億6,940万円）
- 医療や介護、障がい福祉分野の処遇改善に向けた支援（47億4,629万円）
- 「クマ被害対策パッケージ」を活用した緊急対応（1億5,036万円）
- 交付金事業〈道路〉（62億8,081万円）
- 交付金事業〈河川〉（50億5,785万円）
- 農業の競争力強化に向けた基盤整備（27億312万円）



▲改修工事を終えた新議場で開催

### 自民党議員会が 提出し可決した 意見書

- 私学助成の充実強化等を求める意見書
- 安定的皇位継承の議論促進を求める意見書
- クマ被害防止対策への支援強化を求める意見書
- 国民の健康保持と国民皆保険堅持を求める意見書
- 中小企業・小規模事業者への支援強化を求める意見書
- 復興を支えるインフラの整備促進を求める意見書

## 議会の構成が変わりました

県議会の改選に伴い、議会の構成が変わりました。11月12日開催の臨時会において、新議長に自民党議員会の矢吹貢一議員、新副議長には同じく自民党議員会の佐藤雅裕議員が選出されました。

また、自由民主党福島県議会議員会の会長に渡辺義信議員、副会長に西山尚利議員、幹事長に鈴木智議員、総務会長に先崎温容議員、政務調査会長に佐々木彰議員がそれぞれ就きました。



12月定例会設置の調査特別委員会	
復興・創生推進対策特別委員会	副委員長 鈴木 優樹議員 理 事 佐々木恵寿議員
県民の安全・安心対策特別委員会	委 員 長 山田平四郎議員 副委員長 山内 長議員
人口減少・地域活力創造対策特別委員会	委 員 長 満山 喜一議員 副委員長 石井 信夫議員

12月定例会では、重要な課題について取り組む、調査特別委員会が設置されました。

### 新・所属委員会

常任委員会	新・所属委員会	○委員長 ○副委員長	議会運営委員会		
総務	企画環境	福祉公安	農林水産	土木	○高宮光敏容 ○先崎義憲 ○佐藤佐佐 佐佐佐佐
○佐藤郁雄 ○佐々木恵寿 ○西山尚利 ○先崎温容 ○佐藤義憲	○江花圭司 ○石井信夫 ○鈴木智 ○高宮光敏	○佐藤徹哉 ○佐藤政隆 ○佐藤雅裕 ○水野透	○渡邊哲也 ○渡辺康平 ○長尾トモ子 ○山田平四郎 ○金澤拓哉	○鈴木優樹 ○山内長 ○太田光秋 ○渡辺義信 ○誉田憲孝	○山口信雄 ○木村謙一郎 ○佐藤憲保 ○満山喜一 ○佐々木彰

## 代表質問 (令和7年12月11日)



自民党議員会を代表して、幹事長の鈴木智議員（いわき市選出）が登壇し、代表質問を行いました。

Q復興への歩みを進める本県の姿を発信するため、復興祈念公園をどのように活用していくのか

A 内堀知事

震災の記憶と教訓を後世に引き継ぐ拠点として「県復興祈念公園」を4月25日に開園する。園内には、献花台を備えた国の追悼・祈念施設や交流拠点となる多目的広場が整備される。多くの人に福島の今への理解を深めてもらい、次世代を担う若者たちが未来へ向けた思いを育む公園になるよう積極的に活用していく。

Q県立学校へのエアコン設置について、どのように取り組んでいくのか

A 教育長

県立学校では全ての普通教室への設置を完了しており、現在は室温調整が必要な教室への設置やPTA等が整備したエアコンの更新を優先して進めている。特別教室や体育館への普及は近年の猛暑下で適切な学習環境の確保はもとより防災機能強化の観点からも重要であることから、着実な整備に向けて検討を進めていく。

Q会津地方を中心に襲った大雪を踏まえ、除雪体制をどのように強化しているのか

A 土木部長

大雪時に集中的に除雪を行う路線や新たな雪捨場等を除雪事業計画に位置付けるとともに、県有機械の貸与手続きの制度化、スクラム除雪の取組などにより、道路管理者間の連携強化を図った。効率的な作業には地域住民の理解が不可欠なので、協力を丁寧に呼びかけて円滑な道路交通の確保に努める。

Q次期ふくしまグリーン復興構想の実現に向け、どのように取り組んでいくのか

A 生活環境部長

これまで施設整備やトレーリルートの設定など、魅力向上や周遊促進に取り組んできた。更なる魅力発信の一環として、令和10年度に本県での「山の日」全国大会開催に向けて立候補する。引き続き市町村等と連携し自然公園等の更なる磨き上げを進めながら、構想の実現に取り組んでいく。

## 各団体との政策 懇談会を実施

自民党議員会は、支援友好団体との政策懇談会を実施しました。各団体の皆様が抱える様々な課題や要望事項を拝聴し、県政に反映するべく活発な意見交換が行われました。

これからも各団体皆様のご要望が実現できるよう努力してまいります。

福島県宅建政治連盟様との懇談の様子▶

